

THE KŌHŌ NANKOKU



広報 南国

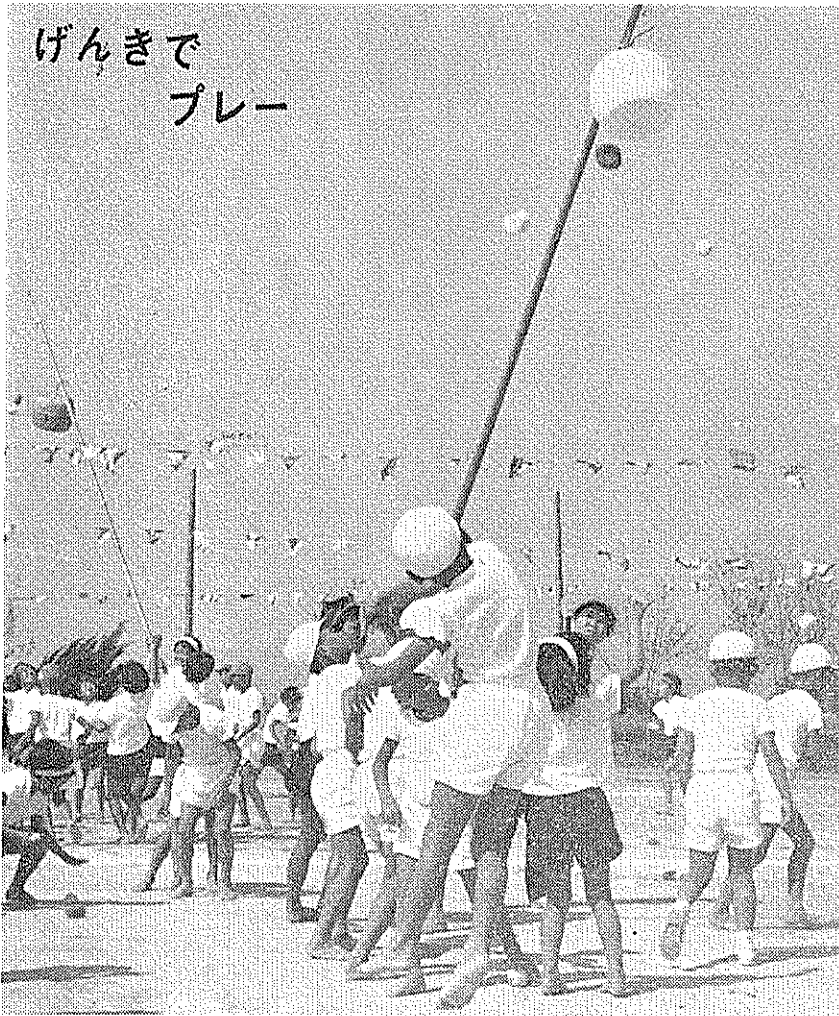
第 60 号

昭和39年10月20日

編集発行
南 国 市 広 報 委 員 会

事務所
高知県南国市役所内
(電 2111)

印刷 川北印刷株式会社
(電 3151)



げんきで
プレー

こども 天国

十月は運動会のシーズンだ。ことしはオリンピックの年とあって、どことも早く行なわれた。オリンピックムードとあってか、競技にもそれになんだものが多い。ともかく運動会はこどもの天国だ。成功す

るも失敗するも、勝つも負けるもそのとき次第、ヨチヨチ走る一年生から、スピード感のでくる六年生と対抗意識は十二分に発揮される。力量感やおもしろさのおううつする中学、高校生とはちがいむじゃ気な小学生の運動会にはほえみもあり、思い出もある。
(日章小で)

10月の人口

=9月末の人口=			
出生	40	死亡	31
転入	183	転出	124
9月末の人口		42,811	
世帯数			
9 月 末		11,267	

はじめてアジアで炎える聖火の下で、東京オリンピックは開かれた。近代オリンピック始まって以来最高の参加国を数え、オリンピック史上最高といわれる施設に科学の粋をあつめた設備とあいまって、ぞくぞくと世界最高の記録が生れている。オリンピックは参加することに意義があるといっても、やはり勝負をいどむものであれば勝つことにこしたことはない。かつての水泳



も大事だが精神と、忍耐力の強さが最も必要ではなからうか▼体力の相違によって一つのハイダイのある競技者の生きる道は努力と心身の鍛練と着さである。そんなハンディを最初からあたえないよう陸上、水泳などは身長差による級別試合にする必要はないだろうか。無差別も悪いものではないが体力の差はこんごますます開らくような気がしてならない。